



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ホギメディカル
 コード番号 3593 URL <http://www.hogy.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部 部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 保木 潤一
 (氏名) 高橋 一夫
 配当支払開始予定日

TEL 03-6229-1300
 平成24年11月30日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	16,316	3.0	4,041	1.0	4,046	1.7	2,519	6.3
24年3月期第2四半期	15,835	1.2	4,000	△6.8	3,979	△5.4	2,369	△5.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 2,618百万円 (13.6%) 24年3月期第2四半期 2,305百万円 (5.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	160.17	—
24年3月期第2四半期	150.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
25年3月期第2四半期	73,437		65,891		89.7	4,188.63
24年3月期	72,522		64,013		88.3	4,069.17

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 65,885百万円 24年3月期 64,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	20.00	20.00	23.00	23.00	86.00
25年3月期	24.00	24.00			
25年3月期(予想)			24.00	24.00	96.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,870	3.1	8,000	3.2	8,060	3.0	5,043	9.0	320.60

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	16,341,155 株	24年3月期	16,341,155 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	611,423 株	24年3月期	611,220 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	15,729,819 株	24年3月期2Q	15,730,135 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当医療機器業界の環境は、診療報酬が僅かながらプラス改定になりましたものの、国の厳しい財政状態もあり、引き続き各企業はより一層の経営の効率化及び合理化が求められる状況となっております。

このような環境の下、当企業集団では、製品・物流・情報管理からなる「オペラマスター」の販売強化と、新製品の販売と開発に注力してまいりました。「オペラマスター」販売では、学会・セミナー等を通じて医療機関の関係者へ理解の浸透を図りました。さらに、社内でのノウハウの蓄積や、新製品発売やショールーム・工場見学の強化による営業活動活性化等の効果もあり、第2四半期連結累計期間では過去最高となる23件の医療機関と契約を締結することが出来ました。解約は2件で、累計契約件数165件となりました。今後、契約いただいた医療機関での「オペラマスター」立上げにかなりの労力が必要とされるため、全社をあげて取り組んでまいります。新製品として発売いたしました「IC TRACER」は、手術中に使用したガーゼのカウント業務を効率化するために、ガーゼにICタグを取り付け機械でトレースすることができる製品であり、医療の安全と効率に寄与できる製品です。現在、多くのお客様に試用をさせていただき、「IC TRACER」の評価をいただいている段階です。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は16,316百万円（前年同期比3.0%増）となりました。手術用品類の医療用キット製品の売上高は8,038百万円（同7.5%増）と伸びました。現在、医療用キット製品売上高の中で「オペラマスター」契約先からの売上高割合は6割を超え、売上高の成長を牽引しております。手術用品類の医療用不織布製品は、シェア拡大のための戦略的価格政策により、売上高5,272百万円（同1.8%減）となりました。

売上原価は、一過性の要因として、前年の第1四半期連結累計期間に、東日本大震災の影響による一時的な受注増加を解消するための増産により生産性の改善があり、当第2四半期連結累計期間はその反動を受けました。販売費及び一般管理費は、全社をあげて取り組んでいる新製品開発の費用や、前年より稼働しているオペラマスター手術管理システムの償却費もあり、増加いたしました。その結果、連結営業利益は4,041百万円（同1.0%増）となりました。連結経常利益は4,046百万円（同1.7%増）、連結四半期純利益は2,519百万円（同6.3%増）となり、通期計画に向け順調に推移しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は73,437百万円となり、前連結会計年度末に比べ915百万円増加いたしました。流動資産は37,780百万円となり、1,314百万円増加いたしました。主な要因は、棚卸資産の増加957百万円、受取手形及び売掛金の増加326百万円となります。固定資産は35,657百万円となり399百万円減少いたしました。うち有形固定資産は28,972百万円となり613百万円減少いたしました。無形固定資産は1,449百万円となり157百万円増加し、投資その他の資産は5,235百万円となり大きな変動はありませんでした。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は7,545百万円となり、前連結会計年度末に比べ963百万円減少いたしました。流動負債は6,920百万円となり685百万円減少いたしました。固定負債は624百万円となり、277百万円減少いたしました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産の部は65,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,878百万円増加いたしました。主な要因は、当四半期純利益2,519百万円の計上による増加、剰余金の配当による739百万円の減少となっております。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の88.3%から89.7%となりました。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、以下に記載のキャッシュ・フローにより19,532百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益を4,048百万円、減価償却費を1,390

百万円計上いたしました。一方、法人税等の支払い1,781百万円、売上債権の増加317百万円等がありました。この結果、キャッシュ・フローは2,335百万円となり、前年同期に比べ1,415百万円減少いたしました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、既存設備入替、オペラマスター手術管理システムの開発等により1,327百万円の支出となり、前年同期に比べ43百万円支出が増加いたしました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払等がありました。この結果、740百万円の支出となり、前年同期に比べ467百万円支出が減少いたしました。

通期のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、約5,700百万円の増加を予想しております。投資活動によるキャッシュ・フローは、既存設備入替により約2,000百万円の支出を見込んでおります。また、筑波工場増設(新工場)のための費用が一部見込まれます。財務活動によるキャッシュ・フローは、主に配当金の支払いにより約1,500百万円の支出を見込んでおります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、欧州の財政不安等による世界的な景気の停滞、長期化する円高等により先行きの不透明感が続くものと思われまます。

当企業集団におきましては、現在実行しております「オペラマスター戦略」を引き続き堅調に推移させるべく邁進してまいります。また、会社の成長を促進させるためにも、「医療の現場に貢献する製品」をコンセプトとした製品開発を進めてまいります。

このような状況を踏まえ、通期の連結業績予想は以下のとおりであります。

(連結業績予想)

売 上 高	32,870 百万円	(前期比 3.1%増)
営 業 利 益	8,000 百万円	(前期比 3.2%増)
経 常 利 益	8,060 百万円	(前期比 3.0%増)
当 期 純 利 益	5,043 百万円	(前期比 9.0%増)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

法人税等の計上基準

法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更に伴う、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,610	19,902
受取手形及び売掛金	10,357	10,684
商品及び製品	3,070	3,509
仕掛品	303	304
原材料及び貯蔵品	2,137	2,654
その他	993	729
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	36,465	37,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,552	12,211
機械装置及び運搬具（純額）	6,353	5,684
土地	9,361	9,379
建設仮勘定	982	1,268
その他（純額）	335	428
有形固定資産合計	29,585	28,972
無形固定資産	1,291	1,449
投資その他の資産	5,179	5,235
固定資産合計	36,056	35,657
資産合計	72,522	73,437
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,715	3,859
未払法人税等	1,801	1,549
引当金	584	596
その他	1,504	915
流動負債合計	7,606	6,920
固定負債		
引当金	147	149
その他	754	475
固定負債合計	902	624
負債合計	8,508	7,545

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,123	7,123
資本剰余金	8,336	8,336
利益剰余金	52,750	54,531
自己株式	△3,317	△3,318
株主資本合計	64,892	66,672
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	326	396
繰延ヘッジ損益	25	△90
為替換算調整勘定	△1,236	△1,092
その他の包括利益累計額合計	△884	△786
少数株主持分	5	5
純資産合計	64,013	65,891
負債純資産合計	72,522	73,437

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	15,835	16,316
売上原価	7,745	8,056
売上総利益	8,090	8,259
販売費及び一般管理費	4,089	4,218
営業利益	4,000	4,041
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	40	30
その他	34	29
営業外収益合計	76	62
営業外費用		
支払利息	4	—
為替差損	92	56
その他	0	0
営業外費用合計	97	57
経常利益	3,979	4,046
特別利益		
固定資産売却益	0	3
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産廃棄損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	3,977	4,048
法人税等	1,607	1,529
少数株主損益調整前四半期純利益	2,370	2,519
少数株主利益	0	0
四半期純利益	2,369	2,519

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,370	2,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	61	70
繰延ヘッジ損益	△186	△115
為替換算調整勘定	59	144
その他の包括利益合計	△64	98
四半期包括利益	2,305	2,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,302	2,618
少数株主に係る四半期包括利益	3	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,977	4,048
減価償却費	1,439	1,390
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△1
受取利息及び受取配当金	△41	△32
支払利息	4	—
為替差損益 (△は益)	94	52
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△3
売上債権の増減額 (△は増加)	△334	△317
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△357	△936
仕入債務の増減額 (△は減少)	390	137
その他	△161	△251
小計	5,008	4,085
利息及び配当金の受取額	41	32
利息の支払額	△5	—
法人税等の支払額	△1,293	△1,781
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,751	2,335
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,048	△936
有形固定資産の売却による収入	0	5
関係会社株式の取得による支出	△8	—
貸付けによる支出	△0	△7
貸付金の回収による収入	4	5
その他	△231	△393
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,283	△1,327
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△500	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△707	△739
その他	0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,207	△740
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	24
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,255	292
現金及び現金同等物の期首残高	18,139	19,239
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,395	19,532

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社及び連結子会社の事業は、医療用消耗品等の製造・販売並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。